

平城京天平祭 春2015

今年の天平祭はお天気にも恵まれ昨年以上の人出(4.6万人)だったそうです。

当会ブースも連日大入りで、自然工作 374setの提供で1,000人近い方の来場でした。また、遊びに来られた会員さんも見かねてのお手伝いとなり、スタッフは3日間で54人の参加となりました。

「ものづくり広場」には10団体が出店し、風車から立体切り絵の体験まで、20種類のものづくり体験ができる会場でした。



・何を作ろうかな 子どもを連れた親御さんは、会場を一巡りして何に取り組むか思案、子どものしたいものと保護者の思惑が一致しないようで、なかなか取り組めないグループもありました。

今年第1号のお客様は女のお子さん2人を連れてご夫婦でした。お父さんは心配そうにお子さんの製作を見ておられました。



・工作 鯉と吹流しの色付けがポイントですが、ここで子どもさんの個性が発揮されるので、見ている者にとっては非常に興味深いものです。

子どもにぴったり寄り添う保護者の方は、カメラ・ビデオで製作の過程を取り続けていました。

・お土産

ステージ出演のお客さんが、お孫さんのお土産にと5セットの購入、時間がないので完成品のこいのぼりを入念に撮影して帰られました。またステージ出演してくれた韓国の方へのお土産にしたいと完成品の注文もありました。

・どちらが良かったでしょう

完成後、子どもたちに調査をしてみました。「こい

のぼりとブンブンゴマづくりどちらが面白かったですか?」。答えは「こいのぼり」、「ブンブンゴマ」、「どちらも」で、3日間とも「どちらも」が大半でした。作る面白さはこいのぼり、遊ぶ楽しさはブンブンゴマに軍配が上がったようです。

・忘れ物

「この杖、お客さんの忘れ物ですね」「きっとお孫さんへのお土産づくりに気を良くされたお客さんの忘れ物ですよ」、「ものづくりの力はすごいですね」などワイワイ。「ちょっと待って、私の杖よ! 帰りは杖を突かないと歩けないほど疲れるのだから…」(本当にあれほど頑張れば、そうなるでしょう。納得!) 「失礼しました」

・来年も出展できますか

さて来年は何で参加することになるのでしょうか。



年々出展準備も大

変になってきて活動にも支障をきたし始めていますが、出来れば来年もこいのぼりに挑戦してほしいものです。すでにニューバージョンのこいのぼり案も用意されています。

ものづくりから子供たちが毎年離れていくように思えます。いや、ものづくりをしなかった親たちが遠ざかっているのかもしれないね。

準備の皆さん有難うございました。今年の入念な工程管理と品質管理が出来ておりスムーズに仕上がりました。会場の



スタッフの皆さん有難うございました。子ども達に作ってもらい、喜ぶ顔を見ると私達も嬉しくなり、また子ども達の「ありがとう」の声に疲れも吹き飛びました。

今年も大忙しでスタッフの皆さんは行列も周りの出し物、食べ物市場、中央ステージの催しもの等ほとんど見られなかったでしょう。来年は余裕で楽しみましょう。

(塩本勝也)